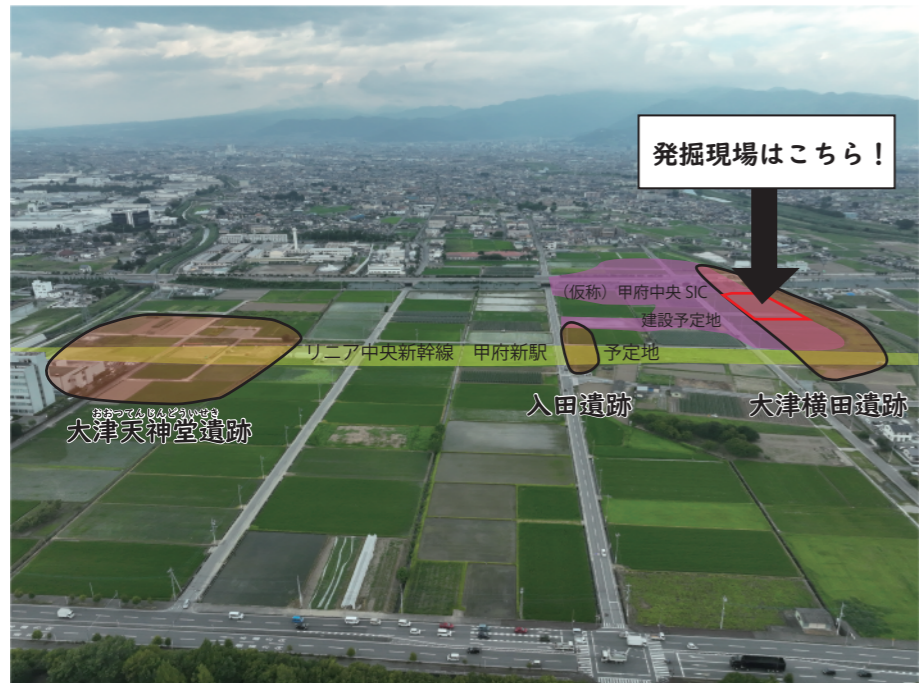


おおつよこた いせき 大津横田遺跡

令和6年8月4日(日)
山梨県埋蔵文化財センター

発掘体験セミナー資料

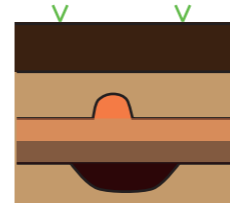


アイメッセのあたりから北側をのぞむ

つい最近まで、大津町にできるリニアの新駅周辺に、遺跡があるかどうか分かっていませんでした。しかし近年、遺跡の試し掘りを当センターでしたところ、いくつかの遺跡が新しく発見されました。

大津横田遺跡は、中央自動車道の(仮称)甲府中央スマートインターチェンジ予定箇所にあたります。

大津横田遺跡のこれまでの調査成果



- 1 面目 中世の終わりころ?
→水田跡に伴う畦が見つっています。この下層から、たくさんの遺物(土器など)が出土しています。
- 2 面目 14世紀~15世紀(約700~600年前)
柱穴状の遺構や、溝などが見つかる想定されています。調査区の南のほうでは、隣接地で水田跡に伴う畦が見つっています。



←昨年度の発掘調査区で見つかった、水田跡のようす。直線的な畔を造って、水田を区画しています。



同じく昨年度出土の渡来銭

Q1. 遺跡?考古学?

A1. 人々の生活の痕跡を遺跡と呼んでいます。ぱっと思いつくものは縄文時代の竪穴住居などでしょうか。このほかにも、古墳などのお墓、田んぼや窯跡などの生産に係わるものも遺跡となりえます。考古学は、遺跡などから出てきたものを研究することにより、当時の人々の暮らしや地域の歴史を明らかにしていく学問です。

※モノを対象に人類の歴史を明らかにするため、恐竜の調査はしません。



中世を代表する土器「かわらけ」



かわらけとは

平安時代まで使われていた土師器につづく、素焼きのお皿。中世~近世の遺跡からはたくさんのかわらけが出土しており、現在でも神社などで使われる。

何に使うの?

オマツリ(儀礼など)のときに、お酒を入れて飲んだ。1回限りですてることもある。

皿に油をいれて、灯かりとりとして使うことも。



Q2. どうして発掘調査をするの?

A2. 道路や建物の工事を行う際、地中に埋まっている遺跡に影響を与えてしまうことは少なからずあります。今回の調査地点では、新しいS I Cが建設予定ですので事前に遺跡をくまなく調べ、記録をすることが目的です。発掘調査が完了すると、「発掘調査報告書」にその記録・成果をまとめます。工事完了後も、この本を読めば遺跡の内容が分かります。

遺跡から出てくる土器の多くは、破片になってバラバラです。発掘調査が終わってからは、これらの土器を洗って、くっつける作業を経て、博物館などに展示されます。

ご注意 今日のお話や、本資料に書かれていることは、現段階での成果に基づくものです。今後の調査や検討によって、変更になる場合があります。

Q3. 大発見があるのかな?

A3. これまで遺跡があるか分からなかった地域で、遺跡が見つかったことがすでに大発見です。大津横田遺跡と同じくらいの時代の遺跡は、県内でも調査事例が少なく、貴重な発見があるかもしれません。

山梨県埋蔵文化財センター(山梨県庁 観光文化・スポーツ部)

<https://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>
電話 055-266-3016(平日8時30分~17時15分)

イベント情報など、HPをチェックしてね!